

## 森林学習展示館で森林との様々な出会いを体験する

### 1 はじめに

森林学習展示館では、林業総合センター業務の一つとして、長野県緑の基金の協力を得ながら、森林と林業が私達の生活とどのように関わっているかを県民の方へ伝える仕事をしています。

平成7年度からは、学校の休日となりました第4土曜日を森林教室の日として、年間に8回シリーズ化して開催しています。

また、夏を中心にキャンプ活動等による青少年育成活動のフィールドとして、21世紀の森を森林学習の場として提供しています。

### 2 森林教室の目的と内容

かつて森林からは、人間の衣食住すべての必需品を得ることができました。森林教室では五感を使った様々な森林体験を通して、森林が今でも私達の生活に欠かすことのできないものであることを学習します。

#### (1) 森林と山野草に親しみ集い [5月]

森林にある毒草の見分け方など学習し、食べられるものを実際にテンプラ等にして、味わってみます。視覚と味覚により自然とのふれあいを深め一方危険な植物のことなどを学びます。

#### (2) 飯ごう炊さん教室 [6月]

竹を加工し食器などを作ることで、木と竹の違いや竹の加工方法を覚えます。火越しや飯ごう炊さんの体験を通して燃料としての木の使い方を学びます。

#### (3) 夏休み昆虫教室 [7月～8月]

昆虫がどんな場所にいるのか観察し、昆虫の擬態などを学び、森林内の生物の生態や森林で起こる自然現象との関わり合いを理解します。また、実際に昆虫を捕らえ、標本をつくり昆虫の種類を検索することにより昆虫の観察眼を養います。

#### (4) 万葉の詩歌と植物のふれあい [9月]

万葉の詩歌とそれに登場してくる植物、並びに

古来からの人間の生活と森林との密接な関係を学びながら、秋の草木を鑑賞します。

#### (5) キノコ森林教室 [10月]

森林の様々な野生キノコの鑑別をします。特に毒キノコなどの識別を中心に、キノコの分類を学びます。また、家庭で楽しめるキノコづくりの方法を学びます。

#### (6) 草木染め森林教室 [11月]

10種類の草木を題材に、媒染剤を変えて染め上がりの変化を楽しみます。染色に適する植物を知り、植物の違いにより多彩な染色の応用ができることを学びます。

#### (7) 木工教室 [12月・3月]

木材の種類の違い、木材の強度の違い、加工・組み立てにおける注意点など、工具の使い方と合わせてその特徴を学習し、木工体験により暮らしの中で使われている木の利用方法を学びます。



写真-1 毒草の見分け方

### 3 創造的な手法の必要性

参加者は年齢差や男女の違いがあり、その興味の対象が様々なので、共通点を見出だし、興味を

引き出すことが大切になります。参加者がただ物を作ることに終始するのではなく、森林教室の意図や今日のプログラムの目的を紹介し、手にする材料についての説明や、視聴覚教材による具体的な質問などで効果的に興味を引き出すことができるようです。

「どうして、こうなるのでしょうか？」

「これはどうなると思いますか？」

など、参加者に考えさせるプログラムを進行します。その仕掛けには自然界の道理が裏付けられていることや、昔からその仕掛を利用しながら生活をしてきた話などを付け加えます。



写真-2 虫の営みと森林環境を観察

例えば、木工教室の開催にあたっては、木の強さについて知るために1枚の板を利用します。参加者に1枚の板からそれぞれ直角方向に異なる2枚の同じ大きさの板を木取りしてもらい、その板により子供でも簡単に割ることのできる木片と大人でも割ることのできない木片があることを試してみます。

実際に鋸を使って自分で木取したものを、手でパキンと割ってみると意外と驚きがあるようです。そこで質問をなげかけます。

「同じ大きさの木材なのにどうして割ることのできるものと割ることのできないものがあるのでしょ

うか」

と質問したりすると、木材ってどんな仕組みになっているのだろうかと疑問を持ち始めます。

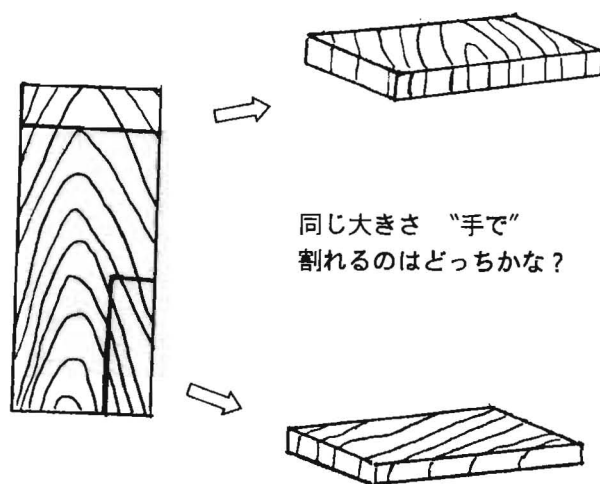
また、着火しているマッチが鉄だったら熱くて持っていられないことや、木が水に浮くことは、経験的に知っていても、どうしてそうなのかということ質問していくことで次第に興味が高まってきます。

「どうやら、空気ははいつているらしい！」

「どこに空気ははいつているのだろうか？」

「割れ方がちがうのはなぜだろう？」

そこで木材は使い方次第で様々な優る性質を持っている素材であることを説明し、参加者が見たことのない木材組織の顕微鏡拡大写真でミクロの木材の世界を解説します。穴だらけの切断面を見るだけでも「なるほど！」という声が聞けます。



木材の繊維の方向による強さの違いを試す

#### 4 おわりに

より多くの方々に森林教室へ御参加していただけるよう充実したプログラムを用意して、参加された皆様から頂いた御意見・御感想を活し、森林とのふれあいのお手伝いを展開してまいります。

(指導部 開藤)